

前文

我々は、情報通信技術が我々の経済、社会及び生活を変成するという、歴史的にユニークな時に面している。

これらの新しい技術は、これまでにない形で我々を繋ぎ、急速な経済成長に拍車をかけ、劇的に情報と経済的機会へのアクセスを拡大し、世界を変えるイノベーションを実現させ、我々が地球的規模の課題に対して新しいやり方を考えることも可能としている。

APEC 電気通信・情報作業部会（TELWG）は、ちょうど 25 年前にその作業を開始し、同時に、ワールドワイドウェブの出現をみた。その短い間に、ICT は、現在の生活に不可欠なものとなり、我々の経済及び社会に革命をもたらしている。

APEC 加盟国は、ICT の導入と利活用において大きな進展を果たしたが、この変革する部門は、将来も変化と進化を続けるだろう。我々は、APEC 地域におけるダイナミックな成長を生み出しているイノベーションを加速させる文化と、有効かつ適応性のある環境をさらに発展させ、育てることに努めるべきである。情報技術は、地域を越えたより大きな地域経済統合へと導く貿易及び投資の円滑化やビジネス効率化の多くの形を可能としてきた。それ故、ICT に関する政策及び規制における継続的な交流と連携は、経済統合と発展及び健全なインターネット経済を含む健全なデジタルエコノミーを促進する上で、非常に重要になっている。

ICT インフラ及びサービスの重要な役割は、それらをデジタルエコノミーの土台と骨格構造とし、成長とイノベーションのためのプラットフォームとすることである。TELWG は、地域経済統合及び他の APEC の目標を達成する重要な手段として ICT コネクティビティを促進し続けなければならない。我々は、モビリティとハイパーコネクティビティが ICT の消費者の体験を変え、ブロードバンドの導入を加速し、革新と投資を促すのを目の当たりにしている。

ICT は、劇的に経済参加への障壁を下げ、個人が起業家となる力を与え、人々の生活を改善してきた。ICT は、我々の経済をより包括的にする新しい機会を提供することで、便益をより広く利用可能とし、アクセスを改善し、サービスが行き届いていない人々へサービス提供する。それ故、TELWG は、我々をつなぐ技術の進歩を支援するとともに、ネットワークの整備とアクセスを推進する努力を継続する。TELWG は、応答性、適応性、費用対効果及び格差是正といった規制アプローチを促進するような新しい技術の導入と利用を促進する方法を議論するだろう。

我々は、サイバーセキュリティ意識の向上や、攻撃に脆弱な人々の保護、国境を越えた情報の流通の確保を促進するといった様々な対策を通じて、安全で信頼出来る ICT 環境を確保するための連携と集団的な能力の構築を行う。TELWG は、集団的な能力の構築を継続し、ベストプラクティスを推進し、人々の安心と信頼に影響を与えるこれらの課題への共通理解を向上させるだろう。

ICT は、自然災害のような人の手によらない衝撃を和らげることができる。地域連携は、ICT の誤用から生じるリスクを軽減することに役立つ。デジタルエコノミーへのリスクが一般的に国境にとらわれないことから、我々は、共通の課題を共有し、効率的にそれらに対応するため共に働くべきである。消費者と企業は、ICT を導入し、恩恵を受けるために、信頼し、信頼される必要がある。

ICT は、持続的な経済発展及び社会統合のためのツールとして利用されるべきである。我々は、青少年や攻撃に脆弱な人々、弱い立場の人々のため、彼らの社会及び経済的豊かさを改善する機会を提供するため、より良く、安全なコミュニティの構築に ICT を活用する。

1 導入

APEC 電気通信・情報産業作業部会（TELWG）は、1990 年に設立され、その時から ICT インフラ及びサービスの発展ばかりでなく地域内の連携促進、情報共有及び有効な ICT 政策及び規制の発展を進めるため半年ごとに会合を設けている。また、効果的な ICT 利用を通じて社会経済の発展を強化し、安全で信頼出来る ICT 環境を促進することも狙いとしている。

TELWG は、すべての人達が ICT 及びインターネットに満足にアクセス出来ることを確保するために貢献してきている。2000 年には、2010 年までにユニバーサルインターネットアクセスを目指すブルネイゴールをセットし、2008 年 TEL バンコク宣言は、2015 年までにブロードバンドへのユニバーサルアクセスの達成に向け TEL のコミットメントを確認し、2010 年沖縄宣言では、2020 年までに次世代高速ブロードバンドへのアクセスを達成し、さらには APEC 地域における知識をベースとした経済の成長を強化するという野心的なゴールを設定した。

TELWG は、これらのゴールを継続的にサポートしている。TEL は、また 2020 年までに APEC 地域において ICT 分野を含むオープンで自由な貿易と投資を達成することに努力するというポゴール目標を継続的にサポートする。

さらには、2014 年に、首脳は、インターネットエコノミーを推進することの重要性に着目し、APEC 高級実務者（SOM）は、インターネットエコノミーの課題にかかる議論を導くためのアドホックステアリンググループを設立しており、TELWG はそれに対して貢献することになる。

TELWG は、以下の分科会を通じ、その作業プログラムを行う。

- 自由化分科会（LSG）
- ICT 開発分科会（DSG）
- セキュリティ繁栄分科会（SPSG）

分科グループは、電気通信・情報産業大臣及び首脳の両方でセットされた優先事項に対応するプロジェクトを提案、実施する。

2 ビジョンと目的

2020 年までに、APEC は統合やシームレス、安全、安心、革新的 ICT インフラ、サービスとアプリケーションで特徴付けられる ICT エコシステムの設立に取り組む。すべての部門における ICT の広い利用、APEC が地域経済統合、経済変革及び成長を達成するための ICT 技能及びデジタルリテラシーの改善、物理的、制度的、人的連結及び他の APEC ゴールなどに取り組む。

TELWG は、地域統合及び連結を推進し、堅牢性、持続性、包括性を刺激し、経済成長を確保するため、アジア太平洋地域における情報通信インフラの利便性と生産的な利用を改善することをその目的としている。

3 TELWG のスコープ

TELWG は、メンバーエコノミーの政策メーカーや規制庁、民間部門や学術分野で働く技術専門家及び合意されたステークホルダーからなる。TELWG へ期待される貢献は、3つの広いカテゴリーに含まれる。分野としては、TELWG がコアコンピタンスを持ち、ICT の利用において他の部門の人達が、自分達の経験に役立てることが出来る分野、またはデジタルエコノミーのより広い経済社会便益を持つ ICT との接点があげられる。

3. 1 **TELWG コア・コンピタンス**：TELWG の専門知識とコアコンピタンスは、地域をまたぐ情報通信インフラ及びサービスの政策と規制に関係するものである。TELWG メンバーは、連携を強化し、規制及び政策環境を改善するといった目標を進めるための研究やワークショップ、情報交換及び能力開発のような広い範囲の活動を進めることを求められる。
3. 2 **ICT の導入**：ICT はユビキタスとなっており、多くの分野で導入及び効果的利用がされることで、その便益が実現されている。TELWG メンバーは、他の APEC フォーラム及び ICT 利用から便益を得る専門家とアイデアを共有し、連携することが奨励されている。交通設備、ロジスティクス、電子及びデジタルコマース、ヘルスケア、高齢化、教育と人材、身体障害者へのアクセスビリティ、災害リスクの低減及び管理、環境と地球科学、科学と技術などの分野が含まれる。
3. 3 **デジタルエコノミーとインターネットエコノミー**：デジタルエコノミーは政府の法律、政策、民間部門の企業、個々の振る舞いの複雑な相互作用で表されるダイナミックなエコシステムである。現在、インターネットエコノミーは、革新的な発展を促進し、包括的な経済参加の能力を高める上で、ますます重要な役割を占めてきている。TELWG は、インターネットエコノミーを推進するための APEC 連携イニシアティブの前進のための 2014 年 APEC 首脳指示に貢献する事が求められる。

4 導かれる原則

TELWG は、研究、ワークショップ、情報交換、能力開発等を実施することで地域における ICT インフラの改善を促進することを狙いとしている。

ビジョンと目標を満たすために、APEC エコノミーは次に示される原則に導かれるべきである。

- TEL で認識される課題への対応のためのメンバーエコノミーの参加と意志
- TELWG の活動におけるメンバーエコノミーの積極的な参加
- 情報と経験の共有
- APEC 目標に到達することをサポートするプロジェクトと取組の醸成と実施
- 関連国間及びマルチステークホルダー組織 ばかりでなく民間部門との結束とパートナーシップ

5 優先領域

2014 年、TELWG は、首脳及び閣僚の最近の優先事項及び決定ばかりでなく APEC ビジネスアドバイザー会議（ABAC）の提言も考慮するために、APECTELWG 戦略行動計画 2010-2015 をレビューした。過去 5 年間では、TELWG は、ロバストな地域デジタルエコノミーの発展への必要な先駆者として情報通

信コネクティビティを強化することに注力してきた。メンバーエコノミー間で現在進行中のコネクティビティイニシアティブの中では、TELWG のフォーカスは、ICT のスマートな利用に導かれる充実した経済及び社会便益をどのように捉えるのかといった課題への対応に、現在シフトしている。

第 10 回電気通信・情報産業大臣会合（TELMIN10）は、以下の優先領域において TEL 戦略行動計画 2016-2020 を承認した。

5. 1 ICT 革新の展開とサポート

TELWG は、インフラ投資、連結性を継続的に推進し、技術トレンドのラインに沿って、革新的な ICT 利用と生産性をサポートする。TELWG、新たな ICT 及びサービスのための戦略的な機会を確保し、知識を共有するためステークホルダーグループ間から ICT リーダーを結集することによって ICT のリーダーシップを支持し、連携的なパートナーシップを形成する。

TELWG は、災害リスクの低減や管理、社会的責任のような出現する課題に ICT が対応する方法を模索し、強靱性、多様性、包括性及び豊かな経済を促進することを支える。

5. 2 安全で強靱かつ信頼出来る ICT 環境の促進

TELWG は、サイバーセキュリティ、連携と協力ばかりでなく知識の伝搬の重要性を促進することによって ICT の利用において信用と信頼を強化する作業を継続している。これらは、APEC エコノミーのすべての関連するステークホルダーがリスクを管理し、強靱なネットワークを構築し、処理や通信のための信頼出来る環境を促進する能力をサポートする。

5. 3 地域経済統合の推進

TELWG は、連結性、規制調和や技術調和を推進することによって、地域経済統合のサポートのため作業を継続している。これは、物理的、制度的、人と人ばかりでなく、関連する新たな課題に対応するためのオンラインの連結性を含む。TELWG は、インターオペラビリティと国境を越えた協力を推進するための対策を進める。

（脚注）戦略行動計画における「オンライン連結性」は新たな連結性の柱を作ることは意図していないが、2014 年に首脳間で承認された「2015- 2025 年 APEC 連結性ブループリント」に基づき、APECTELWG においてのみの目的のため、ICT 連結性に関連する研究、ワークショップ、情報共有及び能力開発を推進するものである。

5. 4 デジタルエコノミーとインターネットエコノミーの強化

TELWG は、インターネットエコノミーにフォーカスをして、活力のあるデジタルエコノミーの発展をサポートするために継続的に作業を続ける。スマート、グリーン、クリエイティブ、包括的で継続的な経済の発展を促進するため、TELWG は、また ICT 産業発展の全体レベルの向上と、他の産業と ICT の大規模な統合をサポートする。

5. 5 連携の強化

TELWG は、デジタル技術をどのように活用し、そのアプリケーションから生じる課題にどのように対応するかを検討するために、APEC 内のグループ及び他のフォーラムとの連携を行う。TELWG は、またシナジーや豊かな資源を最大化し、APEC 外のグループの作業と TEL の作業の間で重複を最小化するために APEC 外のグループとも連携する。

6 実施

以下の表は、セクション5で認識される優先領域に対応するためのアクションを認識するものである。

1 ICT革新の展開とサポート		
TELWGは、インフラ投資、連結性を継続的に推進し、技術トレンドのラインに沿って、革新的なICT利用と生産性をサポートする。TELWG、新たなICT及びサービスのための戦略的な機会を確保し、知識を共有するためステークホルダーグループ間からICTリーダーを結集することによってICTのリーダーシップを支持し、連携的なパートナーシップを形成する。TELWGは、災害リスクの低減や管理、社会的責任のような出現する課題にICTが対応する方法を模索し、強靱性、多様性、包括性及び豊かな経済を促進することを支える。		
No.	目標	アクション
1.1	ICTにおける革新及び価値創造の推進	a) ICTの革新的な利用に基づく新しいビジネスモデルに繋がれる研究分野での連携を強化する b) ステークホルダーとの連携を促進する c) ICTのイノベーション、経済成長を可能とし、利用における統一化、新しいサービスや変化に対応するための政策及び規制協力を推進する d) オープンデータの可用性及び利用を推進する e) ICTインフラ及びサービスの投資や自由化による社会経済便益にかかる経験やベストプラクティスを共有する f) 身体障害者や社会的に攻撃を受けやすいグループを含む、市民の生活基準を改善するためICTの利用を推進する
1.2	ブロードバンドアクセスを含む、連結性の継続的な改善	a) ブロードバンドサービスへのアクセスを改善するための実践的なアプローチにかかるアイデアと経験を交換する b) 提供されていないまたは利用していない人々のためICTの可用性、アクセスビリティ、廉価性を向上させる方法を模索する c) 次世代高速ブロードバンドネットワーク及びサービスへのアクセスを推進する
1.3	デジタルエコノミーに参加するためのデジタルリテラシーと市民能力の強化	a) 市民のデジタルリテラシーを改善するためのベストプラクティスを認識し、共有する b) 学校、図書館などICTへのアクセス改善にかかる政策を交換する c) 教育、トレーニングや人材開発のすべてのステージにおいてICTの利用を推進する d) 革新を導くためのICTユーザー間の創造性を推進する
1.4	APECエコノミー内におけるICTのより大きな導入	a) ICTサービスの導入を促すためにベストプラクティスと戦略を認識し、共有する b) 起業やイノベーションを可能とする文化やシステムを推進する方法を模索する c) インターネットの領域における起業家精神の醸成を推進する

2 安全で強靱かつ信頼出来る ICT 環境の促進

TELWG は、サイバーセキュリティ、連携と協力ばかりでなく知識の伝搬の重要性を促進することによって ICT の利用において信用と信頼を強化する作業を継続している。これらは、APEC エコノミーのすべての関連するステークホルダーがリスクを管理し、強靱なネットワークを構築し、処理や通信のための信頼出来る環境を促進する能力をサポートする。

No.	目標	アクション
2.1	重要な国内インフラの強靱性の強化	a) より大きなコネクティビティが国内の重要インフラや重要な国内インフラの強靱性を強化するアプローチにいかに関与を促すのかという重要性の理解を推進する
2.2	セキュリティを強化するより大きな能力とサイバーリスクの管理	a) ICT 専門家及び消費者のサイバーセキュリティ能力をサポートする b) 出現するサイバーセキュリティ脅威と課題に関する情報共有及びサイバーリスクを管理するためのアプローチを促す
2.3	サイバーセキュリティの意識の向上	a) サイバーセキュリティ意識を向上させるため政府、民間部門、他の APEC フォーラムばかりでなく他の関連する組織が結束する b) APEC サイバーセキュリティ意識向上日のような活動を通じて、一般の人達の意識を推進する
2.4	ICT の安全で信頼出来る利用の推進の加速	a) 攻撃を受けやすいグループの保護のための情報共有及び戦略の策定 b) ICT サービスに関連するユーザー情報の適切な扱いにかかるベストプラクティスを認識し、シェアする c) スパムの対策にかかる経験を研究し、共有する d) ICT 利用における消費者の信頼を推進する
2.5	APEC エコノミー間の連携加速	a) 地域における能力構築のサポートのため国内開発及びベストプラクティスを共有する b) APEC 地域におけるサイバー脅威への対策及びプライバシー保護の対策にかかる共通理解を促進する

3 地域経済統合の推進

TELWG は、連結性、規制調和や技術調和を推進することによって、地域経済統合のサポートのため作業を継続している。これは、物理的、制度的、人と人ばかりでなく、関連する新たな課題に対応するためのオンラインの連結性を含む。TELWG は、インターオペラビリティと国境を越えた協力を推進するための対策を進める。

No.	目標	アクション
3.1	物理的連結性の強化	a) ICT インフラの質を向上する b) ICT 利用の多様性を推進する
3.2	制度的連結性の強化	a) 調和的な規制環境を推進する b) APEC エコノミー間のインターオペラビリティを推進する c) グローバルデータ標準の開発と利用を推進する d) APEC エコノミー間のモバイルローミング料金を低廉化する e) 情報の自由な流通促進にかかる研究をする
3.3	人と人の連結性の強化	a) APEC 地域内において共通 ICT 技能認定フレームワーク (ICT SRF) を推進する
3.4	オンライン連結性の強化	a) APEC 地域におけるオープンデータを推進する b) 国境を越えた電子商取引の開発を推進する c) IoT 及びアプリケーションとアプリケーションのコネクティビティを推進する d) APEC 域内におけるデジタルコンテンツを推進する e) IPv6 のより広い導入を推進する

4 デジタルエコノミーとインターネットエコノミーの強化

TELWG は、インターネットエコノミーにフォーカスをして、活力のあるデジタルエコノミーの発展をサポートするために継続的に作業を続ける。スマート、グリーン、クリエイティブ、包括的で継続的な経済の発展を促進するため、TELWG は、また ICT 産業発展の全体レベルの向上と、他の産業と ICT の大規模な統合をサポートする。

No.	目標	アクション
4.1	ICT 産業エコシステムの強化	a) ICT ハードウェア、ソフトウェア及びネットワークの強化を推進する b) APEC 地域における継続的なスマートシティの開発を推進する c) 新しい世代のモバイルコミュニケーションのビジネス利用を推進する d) 周波数の効率的な利用を推進する e) ロバストなデジタルエコノミーをサポートするための ICT 産業における調和のための対策を推進する
4.2	ICT の総合的な利用を通じた伝統的産業の革新の加速化	a) 伝統的産業におけるビジネス習慣を変革するために ICT 利用を促す b) 通信と他の産業間の交流を促進する c) ICT アプリケーションにかかる政策経験を共有する
4.3	新しい産業の開発	a) ICT のアプリケーションを通じた新しい産業の開発を推進する b) 継続的なスマートシティの開発を推進する
4.4	サービスにおける ICT アプリケーションの強化	a) ICT 開発を推進する（商業及び社会サービスの実現） b) 新しい経済部門における革新のための好まれる環境を推進する

5 連携の強化

TELWG は、デジタル技術をどのように活用し、そのアプリケーションから生じる課題にどのように対応するかを検討するために、APEC 内のグループ及び他のフォーラムとの連携を行う。TELWG は、またシナジーや豊かな資源を最大化し、APEC 外のグループの作業と TEL の作業の間に重複を最小化するために APEC 外のグループとも連携する。

No.	目標	アクション
5.1	APEC グループ内での連携 (APEC 内の ICT 関連の活動にかかるリーダーシップ及び調整ばかりでなく助言の提供)	以下の関連する APEC グループと結束及び連携する a) 貿易投資委員会：地域経済統合に対する強化と貢献 b) インターネットエコノミーにかかるアドホックステアリンググループ c) 電子商取引委員会とテロ対策タスクフォース：信頼出来る ICT 環境を推進する d) 緊急時の備え作業グループ：緊急時の備え及び防災／減災のための ICT 利用の便益の推進及び政策オプションの共有 e) 健康作業グループ：e ヘルスアプリケーションを認識する f) サービス関連グループ：ICT サービスの貿易に関連する貿易と投資の自由化と促進の課題を促進する g) 金融閣僚プロセス（FMP）：地理的または経済的、財政的障壁などによりサービスを利用していない人々に対し、より提供可能とするためモバイルバンキング活動の意識を促進する h) SME ワーキンググループ：インターネットアクセスの SME の機会を増やし、インターネット利用コストを減らすことによって SME の開発を促進する
5.2	APEC がシナジー、豊かな資源を最大化でき、APECTEL によって着手された作業の重複を最小減とするよう APEC 域外のグループとの連携	a) 知識の共有及び地域を越えた連携パートナーシップの形成のためステークホルダーから ICT リーダーを結集する b) ICT 産業、関連する多国間組織、インターネット関連の技術及び管理団体と連携する